

2018年11月17日(土)13:30～15:30

福岡市埋蔵文化財センター 平成30年度考古学講座「人と動物の歴史」

## 第6回「ウマと信仰心ー土馬・絵馬への願いー」

北條朝彦

はじめに

### ○ウマの家畜化

世界的には・・・紀元前3700年頃のウクライナの遺跡から馬骨出土例

日本では・・・4世紀後半(体高100～125cm)

ウマの埋葬跡～大阪府 菟屋北遺跡(5世紀)

平安京跡(源仲国邸? 13世紀)

### ○ウマは神の乗り物なのか?

『続日本紀』大宝2年(702)4月乙巳(8日)条・・・飛驒国から神馬を献上

『続日本紀』天平宝字7年(763)5月庚午(28日)条

・・・丹生河上神に黒馬を奉納

「神馬」と墨書された絵馬・・・大阪府讃良郡条里遺跡

### ○「いけにえ」から土馬・絵馬へ

『日本書紀』皇極天皇元年(642)7月戊寅(25日)条

・・・牛馬を殺し、神々に祭る

古代以降、ウマは必要不可欠な動力(今の自動車のようなもの)

→祭りに代替品(土馬・絵馬へ)

## 1 土馬とは?

### ○馬型埴輪との違いは?

馬型埴輪・・・古墳上もしくは古墳の周囲に列立された土製品(聖俗の境界)

土馬・・・祭祀に使われたミニチュア土製品

### ○土馬の形状・作り方(推定)

「都城型」・・・頭が三日月状、体全体が簡素

長岡京市埋蔵文化財センター作成新聞参照

「都城型」ではないもの・・丁寧な作りで馬具も再現されているものが多い。

### ○土馬の主な出土例

「都城型」・・・その名のとおり、平城宮跡・長岡京跡・平安京跡

「都城型」ではないもの・・全国各地

→(例：奈良県島庄遺跡・斎宮跡・岡山県久田原遺跡・福岡県稲元日焼原遺跡等々)

### ○何に使われたものなのか?

祭祀に使用・・・脚・頭・尾が故意に壊されている場合が多い

→わざと壊し、厄神の動きを封じる??

土馬でも疾走するので、災いを散逸させないため??

## 2 絵馬とは?

### ○古代の絵馬たち

都城や地方官衙関連遺跡から出土。

ほとんどが井戸跡・溝・自然流路・自然谷地形より検出される。

### ○ウマの描かれ方

「裸馬」もあれば「飾馬」もある。体部に塗布の例もある。

都城関連遺跡・・右向きもあれば左向きもある。

→雌雄の区別? 非常に写實的(専門職人の作??)

地方官衙関連遺跡・・左向きが多い(理由は不明)。稚拙な図柄多い。

### ○絵馬の主な出土例(30箇所以上から90点以上)

山形県道伝遺跡(最小の絵馬)・秋田県払田柵跡・静岡県伊場遺跡群(8点出土。うち2点は牛絵)・滋賀県十里町遺跡・大阪府讚良郡条里遺跡(「神馬」墨書絵馬)・岡山県鹿田遺跡(最古の猿駒曳・牛絵)等々

### ○何に使われたものなのか?

→天平10年(738)前後に作られた絵馬たち

・・目的のはっきりした?絵馬たち

→平城京二条大路跡出土絵馬(年輪年代測定法で737年+ $\alpha$ )

日笠フシダ遺跡出土絵馬(「天平十年」木簡と共に出土)

難波宮跡北西部出土絵馬(谷地形から36点もの絵馬・絵馬状木製品出土。うち1点が738年+ $\alpha$ )

→『続日本紀』天平9年(737)5月壬辰(18日)条  
「壬辰 詔曰 四月以降 疫旱並行 田苗憔悴 由是 祈  
禱山川 奠祭神祇 未得効驗(以下略)」

○絵巻物にみえる絵馬たち

『一遍聖絵』・『山王霊験記』・『慕婦絵詞』

『年中行事絵巻』(12世紀後半)・『天狗草紙絵巻』(13世紀末)

○福岡県出土の絵馬・・・粕屋町 戸原麦尾遺跡出土の絵馬

戸原麦尾遺跡・・・鎌倉～室町時代にかけての館跡や集落跡

絵馬・・・溝状以降から出土。長さ14.1cm 幅6cm 厚0.6cm

スギの板目材。鞍をつけ、たてがみを編んでいる。

3 土器に描かれたウマ(富山県 下佐野遺跡出土土器)

平安時代の溝から出土。

馬具を身につけ、疾走する2頭の馬が描かれている。

人形木製品や馬形木製品と共に出土。

祭祀に使われたものか・・・土器はまれ。

おわりに

土馬の衰退・・・7世紀に出現するも、10世紀初頭には衰退

作成に手間が掛かる?

祭祀の在り方の変化?

絵馬への願い・・・生死にかかわるような切実な願い・祈禱

↓

ありとあらゆる願い(現代に至る)

参考文献 『事典 人と動物の考古学』(吉川弘文館)

『十二支になった動物たちの考古学』(新泉社)

# ウマと信仰心

土馬・絵馬への願い

北條朝彦

はじめに……

- ◆ 馬の家畜化
- ◆ ウマは神の乗り物なのか？
- ◆ 「いけにえ」から土馬・絵馬へ

大阪府  
 部屋北遺跡出土  
 埋葬馬(5世紀)



平安京跡ウマ埋納土坑



3000年頃の馬の頭骨 福から

大宰府在来馬



## 土馬とは？

◇馬型埴輪との違いは？

土馬の形状・作り方(推定)

土馬の主な出土例

何に使われたものなのか？

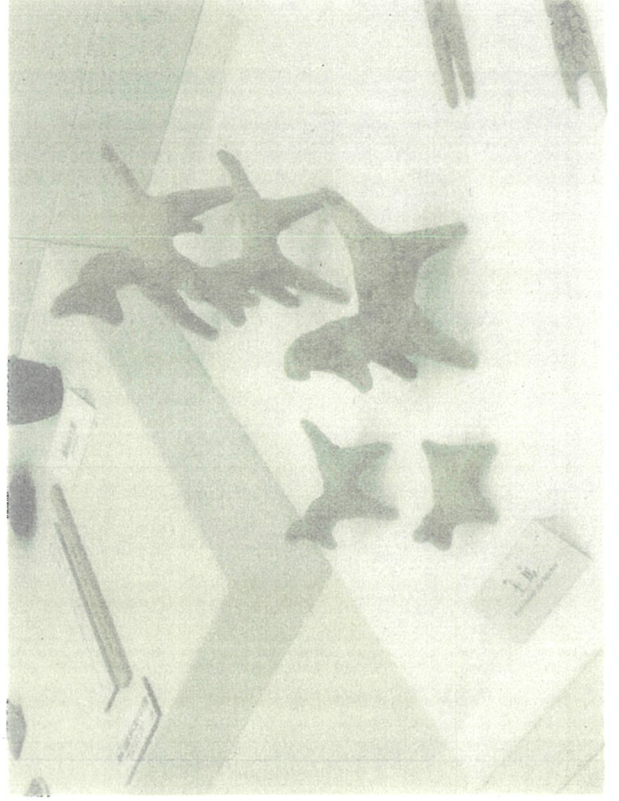
藤原宮跡出土  
土馬



奈良県 島庄遺跡出土 土馬



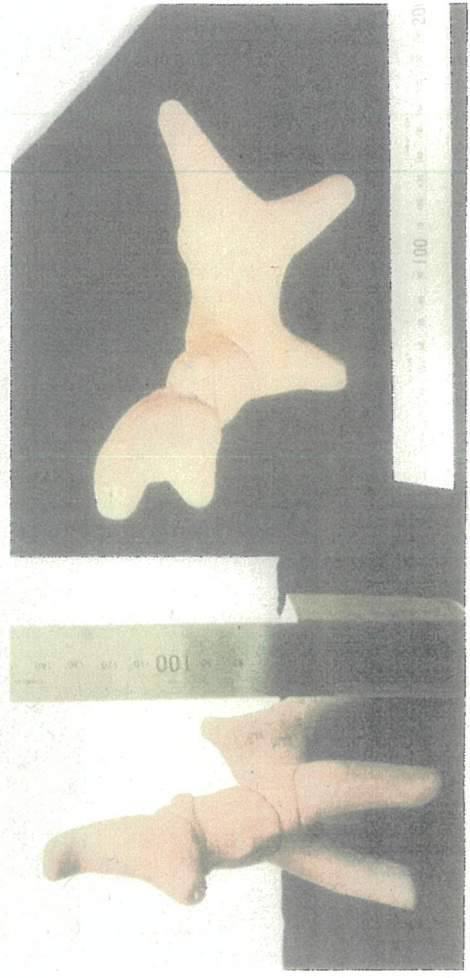
平城宮跡出土  
土馬



長岡京跡出土  
土馬



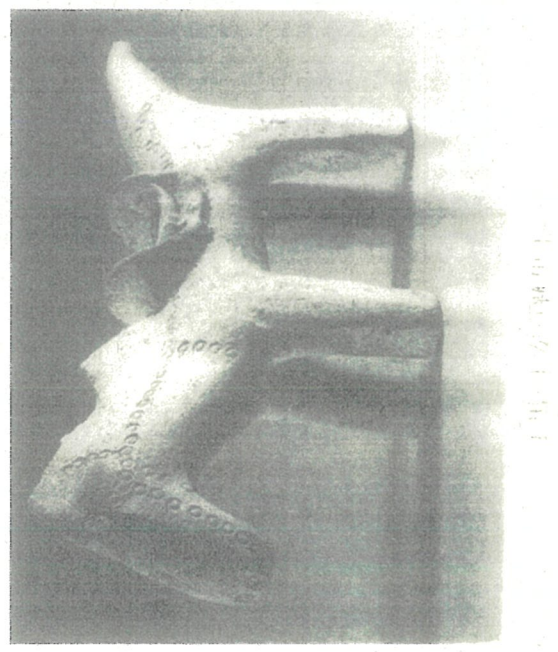
長岡京跡出土土馬



平安京跡出土  
土馬



平安京跡出土  
土馬





# 斎宮跡(三重県)出土の土馬



**長岡京より昔の土馬**

土馬が最初に登場したのは古墳時代です。古墳時代の土馬はくればま・形が個性的で、一箇所から大量に出土することがあります。また、土師質と赤土質という2種類の成形方法があることも特徴です。一層的な無彫造時では、こうした古墳時代以来の土馬が使われました。

ところが、形、使われる土質は、統一された形骸かつ非常に簡単な作りです。造形面と仰はれる土馬は奈良の藤原京で生まれ、都その周辺のみで見られる特殊な土馬なのです。また、規模が著しく縮小のみとなり、造形面のみは全く見られません。そして、何より出土数が圧倒的に増えます。

さて、今回紹介する飛鳥一帯の飛鳥土馬は、長岡京市天智二丁目で出土しました。造形から推察にかけて蓋や手綱が特徴にはっきりと見えます。材質も赤土質です。また、穴開しているものも発見されていたと考えられ、非常にリアルで精巧な作りをしています。

市域では、天智二丁目の飛鳥土馬のほか、長岡京より昔の土馬の分布域で出土しています。いずれも古墳時代の土馬類のものです。

また、天智二丁目の飛鳥土馬は約10cmの大きさで、作りも多種多様で、古い時代から作られ、作りも多種多様であったことが想像できます。

右の方に、「斎宮跡」土馬1-2は、飛鳥一帯の飛鳥土馬です。

---

**今里遺跡出土の古墳時代の土師質土馬 (例1)**

20cm

**天智二丁目出土の飛鳥一帯時代の赤土質土馬 (例2)**





## 岡山県 鏡野町久田原遺跡出土の



陶馬

## 絵馬とは？

◇ 古代の「絵馬」たち

ウマの描かれ方

絵馬の主な出土例

絵馬は何のために使われたものなのか？

→ 天平10年(738)前後に作られた絵馬

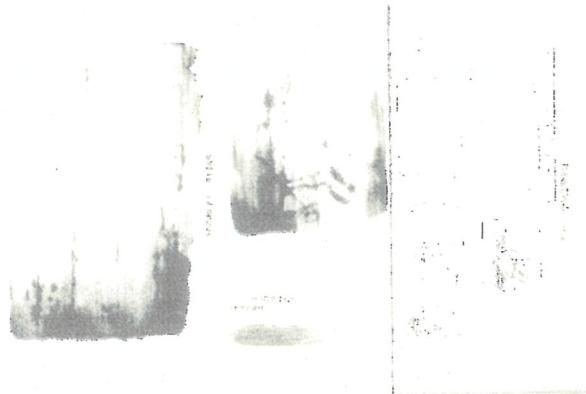
…目的のはっきりした(?)絵馬たち

## 福岡県宗像市 稲元日焼原遺跡

### 出土土馬



7世紀

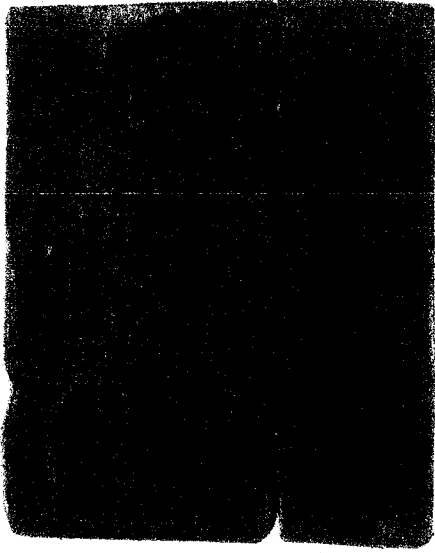


1号絵馬…上辺12.5cm  
下辺13.0cm  
左右3.1cm 厚0.9cm

2号絵馬…上・下辺8.7cm  
左右7.5cm 厚0.7cm

## 山形県道伝遺跡

# 静岡県 伊場遺跡



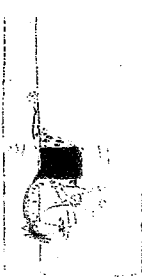
静岡県浜松市伊場遺跡出土絵馬(複製)  
 奈良～平安時代 鳥の博物館蔵・複製元：伊場町博物館  
 館蔵品から絵馬が出土した15号(2000)は、現在本館蔵の複製と同等  
 の状態にある。4号と5号は、鳥の博物館蔵の複製と同等の状態にあり、  
 複製元の複製品である。複製元の複製品である。複製元の複製品である。

縦7.3cm 横3.9cm  
 厚0.5cm  
 白磁焼  
 平箱と共伴

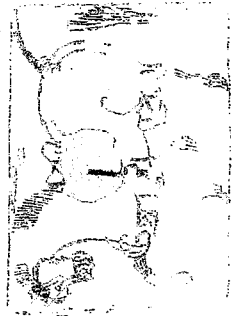
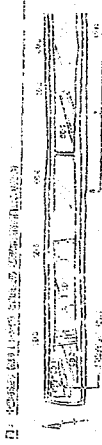
# 秋田県 弘田柵跡



縦13.5cm 横9.6cm 厚0.5cm  
 白磁焼前半 乙字材



# 滋賀県 十里町 遺跡 出土絵馬



縦15.3cm  
 横23.7cm  
 厚0.7cm  
 白磁焼後半

# 岡山県 鹿田遺跡 (猿駒曳)



縦12.9cm 横23.6cm  
8世紀後半の赤瓦  
から出土

# 岡山県 鹿田遺跡 (下は牛絵)

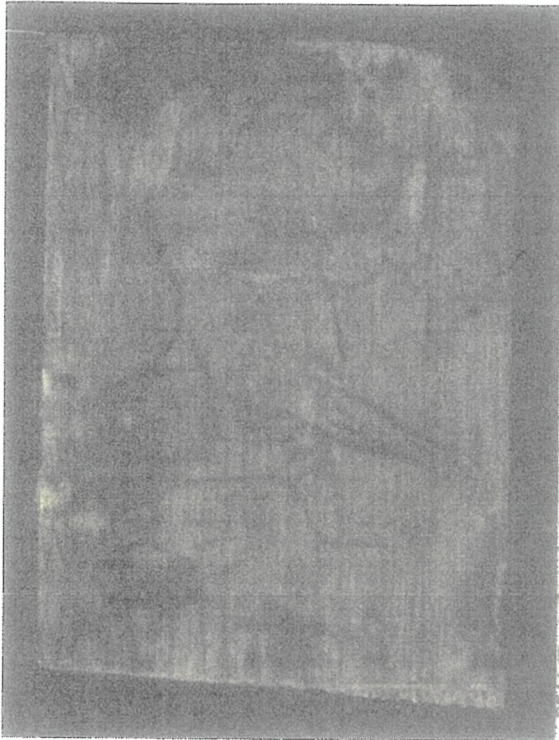


岡山県 鹿田遺跡  
赤瓦の「猿駒曳」と「牛」の赤外線  
岡山大塚蔵文化財調査センター

牛絵・馬絵 縦12.3cm 横21.5cm

2枚重なった状態で  
出土

# 大阪府 讃良郡条里遺跡



「神馬」と書かれた絵馬(奈良時代、大阪府文化財センター蔵)

縦14.6cm  
横19.6cm  
厚0.6~0.7cm  
ヒノキの板目材

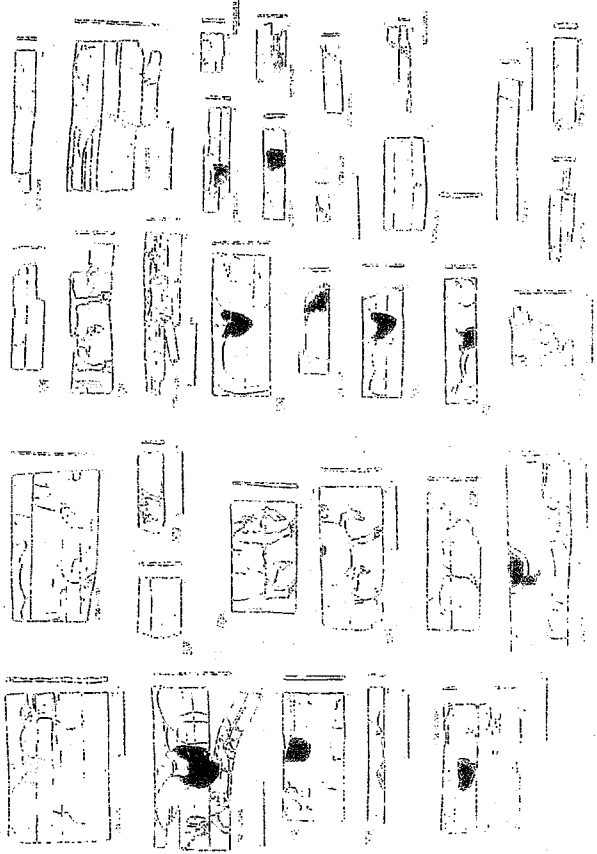
# 大阪府 讃良郡条里遺跡



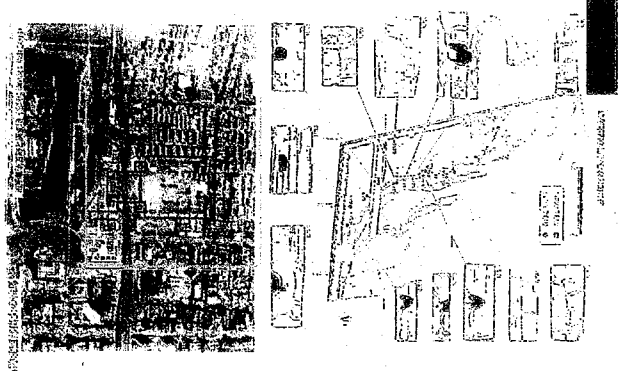
讃良郡条里遺跡出土 馬を牽いた白馬の絵(複製)

縦20.3cm  
横26.6cm  
厚0.6~0.8cm  
ヒノキの板目材

平城京二条大路北側溝出土の絵馬  
 奈良縣日笠ツツシ遺跡出土の絵馬  
 難波宮北西部出土の絵馬  
 1. 5才中平享10年(738)前後に作られた  
 一「藤日本紀」平享2年(738)夏



### 難波宮北西部 出土絵馬



絵馬状木製品  
 (738±α)  
 縦7.4cm  
 横23.6cm  
 厚0.3~0.5cm

証目材

絵馬12号(最大)  
 縦8.67~9.85cm  
 横30.16cm(1尺に近  
 い)  
 厚0.23~1cm

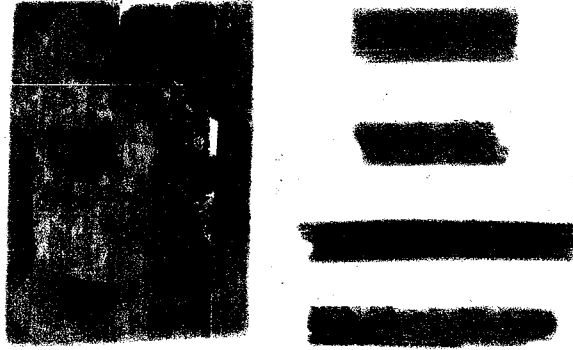


### 平城京跡二条大路 北側溝出土絵馬

縦19.6cm  
 横27.3cm  
 厚さ0.8cm

ヒノキの板目材

中簡1に  
 「天平十年七月...」



### 日笠ツツシ遺跡

縦19.6  
 横27.3  
 厚0.8  
 (cm)

絵巻物に見える絵馬たち

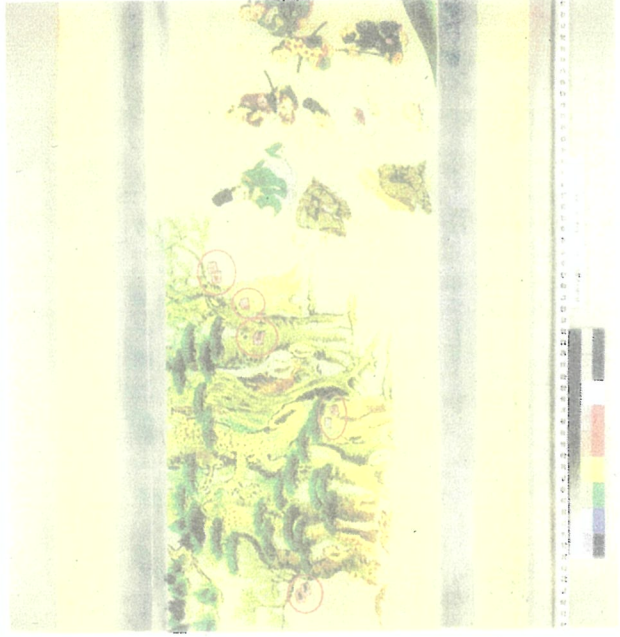
- ◆ 一遍聖絵 (13世紀末)
- 山王靈驗記 (13世紀末)
- ◆ 慕帰絵詞 (14世紀中頃)

山王靈驗記

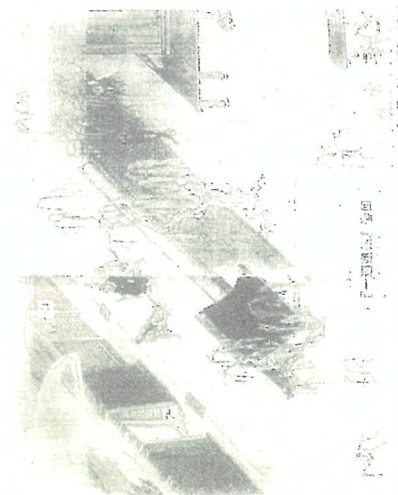


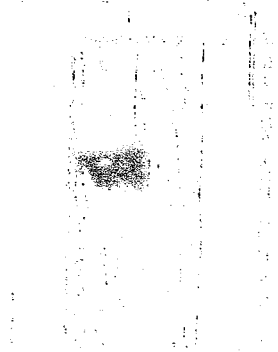
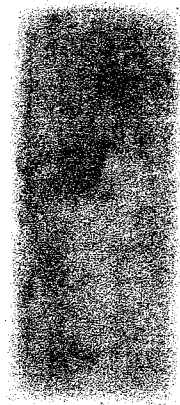
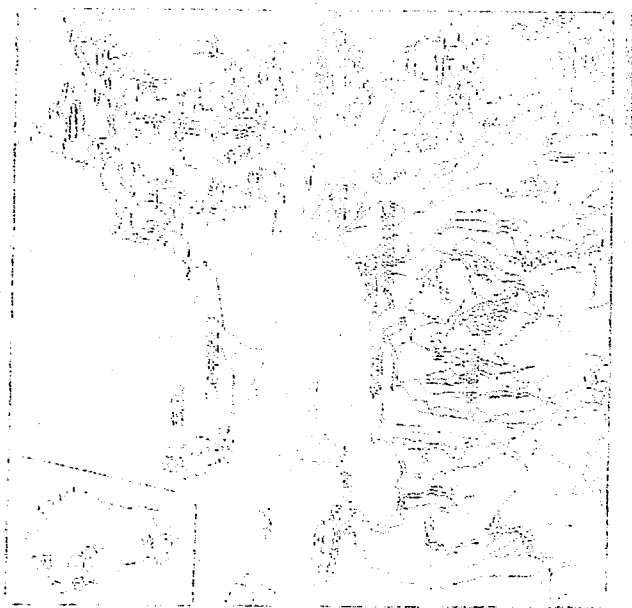
図10 『山王靈驗記』(部分) 加賀藩蔵 江戸時代中期  
 図号: 2014-20

慕帰絵詞



一遍聖絵





富山県 下佐野遺跡出土 絵画土器

